

令和7年6月県議会

建設委員会

県土整備部長説明要旨

県土整備部

県土整備部長の福本でございます。

委員各位におかれましては、県土整備行政の推進に格別のご指導、ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

それでは、まずはじめに、本日出席しております県土整備部職員の紹介をさせていただきます。

技監	の	くほ	ひろや	でございます。
		久保	浩也	
空港活性化担当参事	の	おかざわ	としひこ	でございます。
		岡澤	利彦	
県土整備政策局長	の	びとう	よしひろ	でございます。
		尾藤	嘉洋	
道路局長	の	うえがし	たくや	でございます。
		上柏	卓弥	
河川下水道局長	の	よねじ	あつし	でございます。
		米地	淳	
都市住宅局長 都市 政策課長事務取扱	の	まえやま	かつひこ	でございます。
		前山	勝彦	
港湾空港局長	の	はなだ	しょういち	でございます。
		花田	祥一	
県土整備政策課長	の	ふくだ	みちよ	でございます。
		福田	道代	
技術調査課長	の	きし	ひろとし	でございます。
		貴志	浩年	
検査・技術支援課長	の	さかぐち	たけひろ	でございます。
		坂口	武弘	
用地対策課長	の	たけはら	かつや	でございます。
		竹原	克也	

道路政策課長の 曾^そ和^わ 健^{たけし} でございます。

高速道路推進室長の 上^{うえ}山^{やま} 孝^{たか}誠^{せい} でございます。

道路保全課長の 児^こ玉^{だま} 隆^{たか}也^や でございます。

道路建設課長の 岸^{きし}岡^{おか} 正^{まさ}哲^{のり} でございます。

河川課長の 千^ち野^の 貴^{たか}彦^{ひこ} でございます。

砂防課長の 岩^{いわ}本^{もと} 吉^{よし}継^{つぐ} でございます。

下水道課長の 山^{やま}本^{もと} 博^{ひろ}信^{のぶ} でございます。

建築住宅課長の 矢^や代^{だい} 敦^{あつ}久^{ひさ} でございます。

公共建築課長の 古^{ふる}田^た 勝^{かつ}彦^{ひこ} でございます。

港湾空港振興課長の 田^た端^{ばた} 一^{かず}哉^や でございます。

港湾漁港整備課長の 赤^{あか}松^{まつ} 伸^{しん} でございます。

津波堤防整備室長の 小^{おが}笠^さ原^{はら} 章^{あき}浩^{ひろ} でございます。

以上で職員を紹介を終わらせて頂きます。

次に、県道長井古座線八郎山トンネルにおける施工不良の件でございますが、5月23日に第6回技術検討委員会を開催し、修補工事の進捗状況を報告するとともに、今後の進め方についてご審議いただきました。

修補工事の進捗状況につきましては、既設覆工コンクリートの撤去と支保工の撤去及び再設置が令和7年3月に完了し、これまでの工事が適正に行われていることをご確認いただきました。

今後の進め方につきましては、沈下や変状を防止するためトンネル底面に設置するインバートコンクリートの修補範囲を判断するための削孔調査の結果、当初想定していたよりも広範囲で厚さ不足が確認されたため、所定の厚さが確保できるよう再施工することといたしました。

修補工事の工程につきましては、安全確保を最優先に進めてきたことに加え、インバートコンクリートにおいて当初想定していたよりも広範囲で修補が必要となったことなどから、令和5年12月から開始した修補工事について、当初は完了まで概ね2年間かかる見通しでありましたが、現時点では令和8年夏頃完了の見込みとなりました。

修補工事完了後はトンネル坑外の取り合わせ工事を別途施工し、トンネルを含む全区間の開通時期は令和8年冬頃の見通しであります。1日も早い開通に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

それでは、今議会に提案しております諸案件について、ご説明申し上げます。

議案書1ページをご覧ください。

議案第102号「令和7年度和歌山県一般会計補正予算」のうち、県土整備部関係といたしまして、
第8款 土木費で720万円の増額補正をお願いしております。

内容につきましては、補正予算説明書に基づき、ご説明いたします。

補正予算説明書（出）4ページをご覧ください。

第8款 土木費、第3項 河川海岸費、第3目 砂防費の720万円につきましては、令和7年3月の降雨により、海南市で発生したがけ崩れへの対策を実施す

るための経費でございます。

次に、議案書 5 ページをご覧ください。債務負担行為の補正につきましては、県土整備部といたしまして、変更で 1 件をお願いしております。

また、補正予算に関連いたしまして、議案書 23 ページ、議案第 109 号「令和 7 年度建設事業施行に伴う市町村負担金について」をお願いしております。

次に補正予算以外の議案につきましてご説明いたします。

議案書 20 ページをご覧ください。

議案第 106 号「和歌山県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例」につきましては、白浜町が景観法に基づく景観行政団体となったことに伴い、規定の整備を行うための議決をお願いするものでございます。

次に、議案書 24 ページ、議案第 110 号につきましては、工事請負変更契約の締結に関し議決をお願い

するものでございます。

次に、地方自治法第180条第1項の規定による知事専決処分報告1ページの諸報第20号、3ページの諸報第22号及び4ページの諸報第23号につきましては、職員の公務中における交通事故に伴う損害賠償の額について、2ページの諸報第21号につきましては、施設等損傷事故に伴う損害賠償の額について、8ページの諸報第27号及び9ページの諸報第28号につきましては、車両転倒事故に伴う損害賠償の額について、10ページの諸報第29号につきましては、車両損傷事故に伴う損害賠償の額について、知事職務代理者において専決処分を行ったため、報告を行うものでございます。

続きまして、令和6年度予算の繰越使用報告について、ご説明申し上げます。

繰越使用報告書1ページ 諸報第34号で、繰越明許費に係る繰越計算書を提出しております。県土整備

部関係といたしましては、同 2 ページから 1 2 ページ
までの一般会計に係る繰越明許費において、

第 2 款 総務費 第 2 項 企画費で、

3 億 1, 7 2 6 万 5 0 0 円

第 6 款 農林水産業費 第 3 項 農地費のうち、

県営農道整備で、1, 0 4 0 万円

同じく、第 5 項 水産業費のうち

漁港施設整備で、1 7 億 2, 7 0 2 万 1 千円

漁港海岸整備で、4, 9 4 5 万 5 千円

漁港維持修繕で、1, 8 5 9 万 9, 4 0 4 円

第 8 款 土木費で、

4 2 1 億 9, 8 4 2 万 4, 2 7 6 円

第 1 1 款 災害復旧費 第 2 項 土木施設災害復旧費で

1 1 億 2, 1 5 8 万 3, 7 5 2 円

1 3 ページ 県営港湾施設管理特別会計で、

1 億 3 9 0 万 1 千円

1 4 ページ 用地取得事業特別会計で、

4, 600万円

の繰越額となっております。

これらは、工事施工に関する地元調整や用地・補償説明等において、不測の日数を要したもので、やむを得ず繰越を行ったものでございます。

次に、繰越使用報告書15ページ 諸報第35号で、公営企業会計における繰越明許費に係る繰越計算書を提出しており、和歌山県流域下水道事業会計で、

1億7,709万4,500円

の繰越額となっております。

これらは、資材、機器の入手難による工程調整に不測の日数を要したもので、やむを得ず繰越を行ったものでございます。

また、繰越使用報告書17ページ 諸報第36号で、事故繰越に係る繰越計算書を提出しております。

県土整備部関係といたしましては、同18ページの第8款 土木費で、3億5,142万5,700円、

20ページ 用地取得事業特別会計で、

1,881万8,050円

の繰越額となっております。これらは、住民との調整及び工事用道路等の変更並びに対象物件の移転に不測の日数を要したため、やむを得ず繰越を行ったもので、今後、早期完了に向けて努力していく所存でございます。

次に、法人の経営状況報告書でございますが、地方自治法第221条第3項に定める法人の経営状況を説明する書類として、県土整備部関係では、20ページ和歌山県住宅供給公社の令和6年度における経営状況等を報告しております。

続きまして、県土整備部関係の主な取組等について、ご報告いたします。

まず、道路局関係でございます。

近畿自動車道紀勢線につきましては、開通予定時期の見直しがおこなわれていた、すさみ串本道路は、本

年４月に令和９年夏の開通見通しであるとの発表がございました。

本県にとっては、地域の発展と安全・安心の前提となる「半島防災」の観点からも「紀伊半島一周高速道路」の早期完成は不可欠であることから、国土交通省に対して、すさみ串本道路の１日も早い開通を改めて要請いたしました。

引き続き、残る区間も含め、早期完成に向けて事業促進に取り組んでまいります。

いなみ なんきたなべ
印南～南紀田辺間の４車線化につきましては、現在、西日本高速道路株式会社においてトンネルや橋梁などの工事が進められております。

次に、高速道路とあわせ県内外の一体的発展に寄与する幹線道路の整備につきましては、直轄国道事業において、令和７年６月７日に国道４２号しみず冷水拡幅の全線とありだかいなん
ありだかいなん こみなみ しみず
有田海南道路の海南市下津町小南～海南市冷水間
が開通いたしました。また、国道１６９号おくどろ
おくどろ
奥瀬道路Ⅲ

期では、現在、橋梁下部工事が行われるなど、全線で事業が進められております。

県事業においても、国道168号では、新宮市相賀^{おうが}の相賀^{おうが}トンネルを含む約1.4kmにおいて、令和7年夏の供用に向け事業を進めており、また、海南金屋線では、海南市別所^{べっしょ}から有田川町上六川^{かみむつがわ}を結ぶ鏡石^{かがみいし}トンネルの本体工事が令和7年3月に完了しております。引き続き工事を推進し、早期供用を目指してまいります。

次に、河川下水道局関係でございます。

直轄河川事業につきましては、紀の川では、藤崎狭窄部対策をはじめとする紀の川本川^{ほんせん}の整備が進められ、熊野川^{くまのがわ}では、河口付近の河道掘削等が進められております。また、直轄砂防事業につきましては、那智川^{みこしがわ}や三越川等において砂防工事が進められております。

県事業においても、七瀬川^{ななせがわ}や西川^{にしかわ}等の河川整備に加

え、^{ほくそがわ}横川や^{すなご}砂子地区等の砂防施設の整備を着実に進めています。

また、本年 1 月に特定都市河川に指定した^{にしかわ}西川流域では、流域水害対策計画の策定を進めており、流域のあらゆる関係者が協働して、ハード、ソフト一体的に対策を行う、流域治水の取組を本格的に進めてまいります。

下水道及び浄化槽関係につきましては、紀の川流域下水道（伊都処理区）におきまして、処理場の設備の更新を行います。また、紀の川中流流域下水道（那賀処理区）におきましては、引き続き処理場の施設整備を進めてまいります。

また、汚水処理人口普及率向上のため、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換に取り組んでまいります。

次に、都市住宅局関係でございます。

都市政策につきましては、都市機能の集約など「コ

ンパクトなまちづくり」や、地域の個性を生かした魅力ある景観形成を促進しています。今後も市町と連携しながら、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

住宅政策につきましては、南海トラフ地震等に備え、住宅耐震化が大変重要であると考えており、所有者等に対し支援制度の普及・啓発に努め、引き続き、住宅の耐震化に取り組んでまいります。

また、空き家対策について、「空き家相談窓口」を設置し、各種専門家等の紹介などを行っているところです。引き続き、活用や処分が進むよう啓発に努め、状況に応じた対策を総合的に推進してまいります。

次に、港湾空港局関係でございます。

まず、直轄港湾事業については、和歌山下津港や日高港における泊地^{はくち}浚渫等が進められています。また、直轄海岸事業については、和歌山下津港海岸における津波浸水対策が進められています。

県事業につきましては、3連動地震に対する津波対策として、那智勝浦海岸で護岸の嵩上げを行うとともに、経済被害を抑え早期の復旧・復興につなげるため、由良港など県内の主要な港湾や漁港において、防波堤の改良等を進めてまいります。

港湾の振興につきましては、外国の港湾を出港した船舶が和歌山県内の港湾に直接入港できるよう、税関、入管、検疫と調整を進めたところです。これにより、4月27日には、関税法上の不開港となっている港湾の公共岸壁としては全国で初めて、日高港に貿易船が外国から直接入港し、マレーシアからのバイオマス発電燃料が輸入されました。また、5月13日には、県内の港湾としては初めて、クルーズ船が外国から直接和歌山下津港に入港し、台湾からの乗客約1,600人が来県しました。今後も港湾の利用促進を通じ、地域の経済振興を図ってまいります。

熊野白浜リゾート空港につきましては、昨年度の利

用者数が約 23 万 6 千人と過去最高を更新し、今年度も大変好調な状況が続いています。3 月に日本航空株式会社との間で空港の利用促進や地域振興等の包括連携協定を締結したところであり、5 月 16 日及び 20 日には、同社による台湾への国際チャーター便が運航されました。

また、全庁を挙げて空港振興に取り組むため、今年度は各課の副課長等を港湾空港振興課に兼務発令したところであり、引き続き、航空会社等とも連携を図りながら、国内線の利用促進や国際線の誘致を推進してまいります。

以上、概略ではございますが、県土整備部関係の説明とさせていただきます。何卒よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。